

Muraho!

ムラーホvol.5

＝応援しよう ブルンジ選手団＝

Muraho (ムラーホ) とは、ブルンジの言葉で「こんにちは」の意味です。

下妻市オリンピック・パラリンピック推進員の塚越貴子さんが、ブルンジ共和国について紹介します。

ブルンジってどんな国？

ブルンジの主食は、キャッサバの粉（タピオカの原料）を練った餅のような「シマ」、サツマイモやジャガイモなどの芋類、食用バナナ（プランテン）、また、日本同様に米やパンも食べられています。ブルンジでは1つの皿に主食、副菜、肉や魚を取り合わせて食べるワンプレート式が主流です。



左上の白い練り物がシマ



料理はワン・プレートで（品目：サラダ、食用揚げバナナ、煮豆、キャッサバの葉、米）

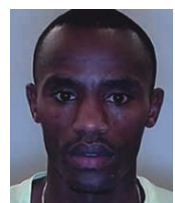
今月の選手～みんなで応援しよう

ムシランジゾ・アデリン選手
(MUSHIRANZIGO Adeline)

パラリンピック女子陸上400m、200m
2002年4月30日生まれの19歳。
国際大会で活躍するブルンジ期待のpara陸上選手。

イラコゼ・ビリー・スコット選手
(IRAKOZE Billy Skott)

男子水泳100m自由形
1996年10月30日生まれの24歳。
2016年のリオ五輪で50m自由形に出場。

ンジクウィンクンダ・オネスフォレ選手
(NZIKWINKUNDA Onesphore)

男子マラソン
1997年6月10日生まれの23歳。
5,000m、10,000m、ハーフマラソン、マラソンで数々の国際大会出場経験の持ち主。

地域を盛り上げる新しい力

令和2年度地域おこし協力隊活動報告会 3月28日

3月28日(日)、かふえまる café & studio(下妻乙339-2)で地域おこし協力隊主催による活動報告会が開催されました。スライドショーを用いた隊員3人の発表に参加者たちは興味深く耳を傾けていました。参加者からは隊員の活動情報の入手方法についての質問もあり、隊員たちの今後の活動に対する期待と関心がかえりました。報告会の後は隊員と参加者で交流を図り、笑いも交えながら和やかな雰囲気の中でさまざまな意見交換をしていました。



参加者を前に活動報告をする地域おこし協力隊員

■活動報告会の内容はYouTubeで公開しています。

<https://www.youtube.com/watch?v=0KIF244KpJY>



地域おこし協力隊員をご紹介します

あらわ あんり
荒川 安莉さんあおたけ えりか
大竹英理耶さんうがい しげあき
鵜飼 成久さん

■住マイルしもつま__地域おこし協力隊紹介ページ

<https://www.city.shimotsuma.lg.jp/page/page003253.html>



■下妻市地域おこし協力隊フェイスブックページ

https://m.facebook.com/shimotsuma.kyouryokutai/?_tn=%2Cg



下妻市環境アクションプランを策定しました

本市では、下妻市環境基本計画で設定した「快適な住環境のまちづくり」、「みどりと清流のまちづくり」、「循環型へのまちづくり」の3つの基本目標と16の基本施策に基づき環境に関する施策を推進してきました。

今回、環境基本計画の基本施策のうち特に推進すべき課題を重点事業として位置付けし、市民・事業者・行政が協働して重点事業に取り組むための具体的な行動計画「下妻市環境アクションプラン」を策定しました。

重点事業には、本市を代表する水辺である砂沼の環境と、ゼロカーボン達成に向けて求められる地域循環共生圏の実現に向けたバイオマス活用を選定しました。

1：砂沼アクションプラン

「ありがたい未来の砂沼」

郷土の誇り 美しい砂沼：歴史ある砂沼を美しい姿で次の世代に繋いでいきます。
砂沼の魅力をみんなに発信：訪れたひとが何度でも訪れたい魅力あふれる砂沼を創ります。
豊かな生き物を育む砂沼に：貴重な水辺である砂沼の豊かな生物多様性を保全します。

「4つの課題」

- 課題① 水質向上、環境美化：清らかな砂沼の水辺の創出に取り組みます。
- 課題② 生態系保全・調査：砂沼の生物相の把握、保全の在り方について検討します。
- 課題③ 環境学習、親水的空間の創出：安全に利用できる水辺を作り、環境学習などに活用します。
- 課題④ 地域活性化：市民や観光客に、下妻市のシンボルである砂沼の魅力を発信していきます。



水位を下げた砂沼



ごみ拾い(越戸流入口付近)

江連八間土地改良区及び環境保全に取り組む市民団体の協力により、環境アクションプランのなかで設定した短期的目標「砂沼の水位を下げてごみ拾いを行う」を実施しました。

2：バイオマスアクションプラン

■バイオマス資源の利活用として、3つの方向性を設定しました。

下妻ブランド堆肥

市内で生産した堆肥をブレンドし、オリジナル堆肥の製造を目指します。

メタン発酵施設、バイオマス発電施設

メタン発酵施設やバイオマス発電施設を整備し、家畜排せつ物や食品残渣、果樹剪定枝、分別収集した生ごみをバイオマス原料として発電を行い、電力の地域還元を目指します。

固形燃料化

もみ殻・稲わら、分別収集した紙類・プラスチック類・ビニール類を原料として固形燃料を製造し、販売することを目指します。

環境アクションプランについて更に知りたい方は市ホームページをご覧ください。

☎ 生活環境課 43-8234
FAX 44-7833

検索 下妻 環境アクションプラン

